

平成 23 年度 福井県立大学大学院  
経済・経営学研究科博士前期課程  
入学者選抜試験問題(第 2 次)  
専門科目  
経済理論・経営理論分野

以下の問 1 と問 2 から 1 問 を選んで解答しなさい。

問 1 (経済理論) 以下の問に答えよ。

- (1) 不況の時、中央銀行が政策金利を引き下げると、経済は回復するとされる。金利引き下げはどのような経路を通じて、経済を回復させるか。そのトランスミッション・メカニズムを理論的に説明せよ。
- (2) 現在、日本でも米国でも政策金利はゼロ（近く）に達している。しかし、こうした時でもさらなる金融緩和が可能であるという主張がある。この主張が正しいか、間違っているかを理論的に論じよ。

問 2 (経営理論)

企業経営において、市場における競争をどのようにとらえるかは、どれだけたしかに成果を生み出せるかにつながる大事な問題である。

ただここで一口に競争といっても、経営の世界においては抽象的な存在ではない。それは実体的な内容をもったものであり、何より具体的な成果に向けての対応をもとめられるものである。さらに、その具体的な成果に向けた対応は実のところむずかしい。これは、競争の態様も時代や環境に応じて変わってくるからである。そこで今日の競争をとらえるには、グローバル化の中で何がどのように変わってきているか、どのようなことが特徴点になるかまずみておく必要がある。また、競争状況に対処する具体的な方策を打ち出すには、M・ポーターの 5 F (ファイブ・フォース) 図式も参考になるかも知れない。これは、競争圧力や競争の程度を規定する要因として、①新規参入業者、②代替品、③売り手の競争優位性、④買い手の競争優位性、⑤競合他社をあげる図式である。

このようなことも参考にし、今日の競争状況においては何が特徴となるか。競争をとらえる上で考慮すべき要因とは何か。市場競争から抜け出て優位な位置に立つには、どのようなことが必要になるか、自らの考えを述べよ。